



こばと農園

田島友里子

自己紹介

- 1986 三重県に生まれる。
- 2012 愛知教育大学 大学院 美術教育専攻 卒業
- 2012～2014 北海道にて農業に従事
- 2014 東京都へ移住。結婚・第1子出産。
- 2016 埼玉県農業大学校 有機専攻 入学（在学中に こぼと農園を立ち上げる。）
- 2017 埼玉県農業大学校 有機専攻 卒業
- 2018 さいたま市へ移住。第2子出産。
- 2020 さいたま市認定新規就農者となる。
さいたま有機都市計画を立ち上げる。
- 2023 さいたま4Hクラブ会長
- 2024 埼玉県 荻野吟子賞奨励賞 受賞。

こぼと農園

面積：約 1 5 0 0 0 m²

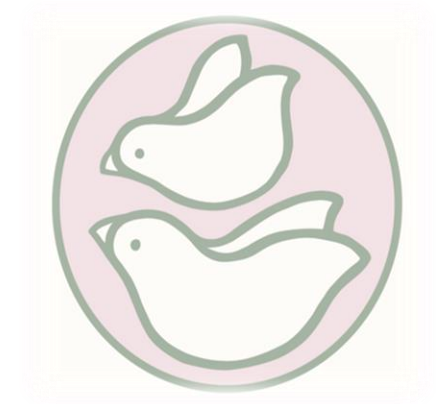
栽培品目：自然栽培の野菜20～30品、オーガニックフラワー

従業員：パート従業員 8 名、研修生 1 名、
就労継続支援A型 3名

2021年 有機JAS認証取得。（さいたま市内で初）

2023年 S-GAP認証取得。
有機給食への取り組みをはじめる。（さいたま市内で初）
貸農園をはじめる。

2024年 新規就農者支援をはじめる。





こばと農園 代表
さいたま有機都市計画 代表
田島友里子さん

人と野菜を育てる 地産地消の ススメ

田島友里子さん(36)
浦和区在住。大学卒業後、北海道で農業研修を経験。夫の実家のあるさいたま市で就農すると決め、県農業大学校(有機専攻)を経て平成28年、こばと農園設立。

さいたま有機都市計画

1.7ヘクタールの農地で野菜を30品目ほど作って、直売所で販売したり、お客さんとの距離が近いので、自分で宅配をしたりしています。宅配便を使う必要がないほど消費者との距離が近いということは、農家と消費者の双方にとっていいことです。消費者にとっても、すぐ近くで育った新鮮な農産物を手軽に手にできるし、畑にすぐ来られて、農家と顔を合わせることできますから。

こぼと農園は、浦和や大

生産と消費が近い
恵まれた環境
地産地消に力を入れている
そうです。

緑区内の見沼田んぼにある「こばと農園」で有機農業を営む田島友里子さん。
農園の理念の一つは「さいたま市での地産地消」です。
農業と市民の接点を作る活動について聞きました。









ワンオペ育児
と 農業

一日のスケジュール

- 4：00～5：30 配達3件
- 5：30～6：30 お弁当作り、子供たちの用意
- 6：30～7：10 配達1件
- 7：20～7：50 子ども起こす、朝ご飯
- 7：50～8：10 娘学校送迎
- 8：10～8：30 息子幼稚園送迎
- 9：00～12：30 パートさん方と畑仕事
- 12：30～13：30 娘お迎え
- 14：00～16：30 畑仕事
- 17：00～18：00 息子お迎え
- 18：00～21：00 夜ごはん、家事、少し仕事
- 21：00 就寝





こぼと農園のこれから

- ・食料生産と、農業の持つ魅力の普及
 - ・耕作者を増やす
- ・自走する仕組みづくり
 - ・続ける、楽しむ。